

「石材再生友の会」会報誌(ケイ・アンド・エス)

萌黄 (もえぎ)

通信

2007年 新年号 NO.35

<http://www.e-kands.jp>

*「萌黄通信」は写真入になりました。
メール配信ご希望の方は、kandsstg@jt4.so-net.ne.jp
までお知らせ下さい
*社長ブログ「石材メンテナンスの旅」は
はじめました。
K&Sホームページ<http://www.e-kands.jp>

山梨県のイベント
「山梨県立文学館」
平成19年NHKの大河
ドラマの原作・井上靖著
「風林火山」関連展示の
お知らせ
第1回 「風林火山」と
武田家の興亡
第2回 戦国時代小説の
魅力
第3回 井上靖と「風林
火山」の世界

萌黄通信
発行元 有限会社ケイ・アンド・エス
本社山梨 電話 0556-22-3237 Fax 0556-22-3236
東京(営) 電話 03-3431-0387
メール kandsstg@jt4.so-net.ne.jp

みなさん、あけましておめでと
うございます。
今年もよろしくお願いいたしま
す。飛躍の年になるよう頑張ら
しょう!!

「浸透性吸収防止剤の使用例」

浸透性吸収防止剤は、普通、石の裏面からの吸上げ防止・エフロ防止が主な
使われ方をしますが、今回のように、意匠的にも使われた例を紹介します。
写真(上)はある建物内に滝を作って、水を流すのですが、水を波打つように作
っているため、スリットが横に入って、本磨き部分と綺麗なコントラストにな
っています。しかし、水を流すと、深く掘った部分が水に濡れてこのコン
トラストが同色になってしまうので、スリット部分を中心に、写真(下)のよ
うに、浸透性の吸収防止剤を塗布します。
これで、水の濡れ色が付かなくなり、いつまでも、コントラストが維持でき
ます。



その他、このような水回りでは、カビの発生を防げたり、汚れが付きにくく
したりする作用もあるので、と
ても有効です。
後は、乾燥養生をしっかりと(最
低二四時間以上)取ってから、
水を流すようにしてもらいま
す。

「壁石の目地からエフロが発生」
壁石から出るエフロの場合、上部の笠石の部分から雨水等が浸入
して起こるものと思われます。大抵の場合石目地から発生す
ることが多く、一度発生すると、なかなか止まらないのがほとん
どです。**止める方法としては、とにかく、水の浸入を防ぐこ
とです。** 今回の場合は、塀の壁石なので、塀の上部に幅広
の笠石をのせて、本来の笠の役目のように、水をそこで切る工夫
をして、水を塀の中に進入させない方が、一番効果的です。
今回の場合、上部に屋根も無いのにこのように目地を切ってしま
って(写真右下)、そこから雨水が浸入して、更にエフロが出てしま
っているようです。屋根や庇のある場合は、このよう
に目地きりは有効かと思いますが、雨水のあたる所では返って逆
効果となってしまっています。目地に浸透性吸収防止剤を塗
布する事も可能ですが、裏面で既に水通りの出来ている部分は、
常にジクジクして乾燥状態が悪いので、再発し易いのがほとんど
です。



「山本勘助(かんすけ)の墓」

今年のNHKの大河ドラマが「風鈴火山」とな
り、山梨ゆかりの話なので、武田軍師・山本勘助
について調べてみると、なかなか不思議めいて
いるのです。山梨県の案内情報から勘助の墓を知
り、一度訪れてみようかと調べたら、山梨県以外に
もたくさん墓が点在しているのです。写真右
下は、山梨県の北杜市高根町の墓碑です。左
上の写真は、川中島合戦で討死した千曲川の対岸
の河川敷にある墓地です(長野県松代町柴)。
左下のものは、愛知県豊川市の長谷寺にある墓地
で、遺髪を埋葬した遺髪塚です。ざっと調べて
もこれだけ分かるのに実際は、中部地方を中心に、
一〇基近くあるらしい。どうして、こんなに複
数点在するのでしょうか?

それは、山本勘助の生い立ちにも関係して
いるようで、静岡県の富士宮市山本の吉野家
で生まれ、豊川市牛久保の大林家に養子に赴
き、更に、その養子先を出て、山本姓を称し
たとされています。

この関係で、各地に勘助の一族や御子孫を
称する家が数多く現存していて、各家が、勘
助の供養や顕彰活動に熱心に取り組む中で、
各家が墓地や菩提寺に勘助の墓碑を建立
したものと考えられ
ます。中には遺骸を分
骨したのもあるとい
われています。(山本勘
助101の謎より)

